

令和4年度 学校経営方針



1 教育目標（目指す児童像）

◎考える子 ○助け合う子 ○ねばり強い子 ○元気な子

今の子供たちが生きる未来は、少子高齢化による生産年齢人口の減少、グローバル化やイノベーションによる急激な社会構造の変化、地球温暖化、価値観の多様化など、様々な問題の解決に挑戦していかなければならない時代です。その未来を明るくするために、児童一人一人に「持続可能な社会づくりの担い手」としての資質・能力を身に付けさせる必要があります。本校の教育目標である4つの子供の姿を目指し、次のような力を身につけていきます。

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| ◎考える子 | 未知の問題に対して、自ら考え、判断、行動できる問題解決力の育成 |
| ○助け合う子 | 相手の立場を尊重し、友達と協力し合う態度（社会参画）の育成 |
| ○ねばり強い子 | 自ら課題を見付け、解決に向けて挑戦を続ける向上心の育成（自己実現） |
| ○元気な子 | 自らの心身の健康に関心を持ち、維持向上に努める態度の育成 |

2 目指す学校像

笑顔あふれる若木小学校
すべての人に居場所と出番があり、共に学び続ける学校を目指して

- | | |
|------------------|---------------------|
| ○笑顔あふれる子供たち | 「学校が好き、友達が好き、自分が好き」 |
| ○笑顔あふれる保護者・地域の方々 | 「通わせてよかった」「わがまちの誇り」 |
| ○笑顔あふれる教職員 | 「子供の笑顔のために共に働く喜び」 |

教育目標（目指す児童像）の実現に向けて、その土台となるものは、児童同士、児童と教師、学校と保護者・地域の方々のよりよい人間関係です。できないことや失敗を助けてくれる友達がいる。困ったことがあると親身に相談のってくれる先生がいる。学校の課題解決に協力してくれる保護者・地域の方々がいる。そのような学校は、すべての人に居場所と出番があり、共に学び続けることのできる学校であり、笑顔あふれる学校です。

3 目指す学校像に向けた具体策

① かかわり合いを大切した教育活動の充実（人間関係形成力の育成）

・特別活動、特に学級活動の計画的な実施

教育活動の基本集団である「学級」をよりよくするために、児童自らが課題を見付け、みんなで解決方法話し合い、決めたことを実践する「学級活動」の指導を充実させます。お互いを理解し、認め合う活動を通して、人間関係形成力を高め、「学級」における自分の居場所を見つけ、「学級」への貢献により自己有用感をもつことができます。

・なかよし班活動（異年令集団活動）の充実

1年生から6年生までが、若木小の一員として、それぞれの役割を理解しかかわり合う中で、かかわり合う楽しさ、役に立つ喜びを味わい、若木小への愛着と誇りを育てていきます。

・保護者、地域の人材活用

教育活動に、保護者・地域の方々の力を借り、より多彩で広がりや深まりのある学びを提供します。児童、保護者・地域の方々、教職員がかかわり合い、共に学び続ける若木小コミュニティをつくります。

② 確かな学力、生きる力を育む授業の創造

・「若木学習スタンダード」「板橋区授業スタンダード」の徹底

児童に、基本的な学習習慣を身に付けさせるために、全校で「若木学習スタンダード」を実践し、授業においては、「板橋区授業スタンダード」に基づき、主体的・対話的で深い学びを実現します。

・読み解く力を育む授業の実践

板橋区の教育の重点である「読み解く力」の育成を図るため、校内研究や日頃の授業において、「読み解く力」の育成に焦点を当てた指導の工夫を取り入れ、授業改善に努めます。

・一人一台タブレットPCやICT機器の活用の推進

一人一台タブレットPCやICT機器を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。

③ 安心・安全の徹底

・いじめを許さない学級・学校づくり

いじめとは、「対象の児童が心身の苦痛を感じているもの」すべてであり、人権侵害であるという共通認識をもち、学校全体で強い危機意識をもって取り組みます。まず、学級活動など子供同士のよりよいかかわり合いを充実させ、仲のよい学級、正義の通る学級をつくるのが、いじめ未然防止の最善策です。また、日頃から、教師が一人一人の児童の様子に目を配り、小さな変化を見逃さず、学校全体でいじめの解消に取り組んでいきます。

・児童一人一人を大切にする教育の推進

児童一人一人をかけがえのない存在として尊重し、大切にする意識を全教員で共有します。児童への指導においては、道徳教育など関連させ、多様な特性を誰もがもっていることや人権尊重の精神を知らせ、お互いを大切にできる態度を育成します。

・地震、火災、不審者侵入を想定した実践的な避難訓練の実施

万一の緊急事態発生時に、自分の命も友達の命も守るために、危機を予測し、主体的に判断・行動し、危機を回避できる力を育成する実践的な避難訓練を実施します。

・学校施設の日常的な安全点検と即時修繕

定期点検以外に、日常的に学校施設や用具に対して危険を予測し、不具合・不備の早期発見に努めます。発見した場合は、担当への迅速な報告を行い、即時修繕を行います。

・新型コロナウイルス感染症への対応と学びの保障

板橋区のガイドラインにそって、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも、可能な限り児童のかかわり合いを大切にしたい取組を工夫して行います。また、タブレットP Cを活用したオンライン学習など、すべての児童の学びを保障します。

児童は担任の鏡ー心理的に安全な学級ー

・褒めるときは全体の前で、叱るときは個別に。たとえその児童に非があっても、恥ずかしい思いをさせない。見せしめになるような指導や感情的な指導はもってのほかです。

※教師の背中を全児童が見ています。そして、真似をします。間違えても温かい教師の言葉がある学級の児童は、友達にもそうします。温かい言葉・行動にあふれる学級は、新しいことに挑戦できる学級です。

④ 保護者・地域の方々との信頼関係の構築

・早期対応と誠実な対応

保護者からの連絡・要望に対して、迅速に情報共有し、早期対応に努めます。

・地域に開かれた学校運営

若木小コミュニティ運営委員会と連携を図り、保護者、地域の方々の協力をえながら教育活動を推進し、若木小の児童、保護者、地域の方々がかかわり合いながら共に学び、地域の活力を向上させます。

・ホームページ等を活用した教育活動の様子の発信

若木小学校ホームページに日々の教育活動の様子を掲載し、保護者、地域の方々に若木小学校の教育活動を伝えていきます。また、学校だより、学年だより等の配布物についても掲載していきます。

⑤ 特色ある教育活動の充実

・けん玉検定

自らの設定した目標に向け、ねばり強く取り組む態度を育成します。

・さくら草の一人一鉢栽培

自然を大切に、愛する心情を育むと共に、若木地域への愛着と誇りをもたせます。

令和4年度 学校経営方針【グランドデザイン】

- 授業規律の徹底
 - ・若木学習スタンダード
 - ・板橋区授業スタンダード
- タブレットPCの活用
 - ・個別最適な学び
 - ・協働的な学び
- 特別活動の充実
 - ・学級活動
 - ・なかよし班活動
 - ・学校行事

確かな学力
生きる力
の育成



けん玉之助

◎考える子 ○助け合う子 ○ねばり強い子 ○元気な子

安心・安全
の徹底

笑顔あふれる若木小学校
すべての人に居場所と出番があり、共に学び続ける学校を目指して

特色ある教育
けん玉
さくら草

かかわり合いを大切にしたい教育活動の充実
人間関係形成力・社会参画・自己実現を育む



桜子

- いじめを許さない
 - ・人権・道徳教育の推進
- 感染症対策
 - ・ガイドライン
 - ・健康観察
- 板橋区立学校等
緊急連絡・お知らせ配信システム
- 若木小コミュニティスクール委員会
- さくら草まなびのエリア
- 土曜授業プラン
- 保護者会
- ホームページの充実

保護者・地域
との信頼関係

5 板橋区教育ビジョン 2025、さくら草学びのエリアの教育指針を踏まえて

ここまで述べてきた学校経営方針は、以下に示す「板橋区教育ビジョン 2025」「さくら草学びのエリアの教育目標」を受けて、作成したものです。

① 板橋区教育ビジョン 2025 令和 4 年度は板橋区教育ビジョン 2025 の第 3 期実施計画の初年度です。

○めざす将来像

“いきいき子ども！あたたか家族！はつらつせんせい！”地域が支える教育の板橋

“学び合う、学び続ける人づくり！”地域を創る教育の板橋

○3つの基本的方向性

【これからの社会を生き抜く力の育成】

- ・確かな学力の定着・向上
- ・豊かな人間性の育成
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした教育の推進

【子どもの学びを保障する教育環境の確保】

- ・誰もが希望する質の高い教育を受けられる環境の整備
- ・保幼小中のつながりある教育の実現
- ・安心・安全な教育の推進と学校環境の整備

【地域と共に学び合う教育の推進】

- ・地域による学び支援活動の促進
- ・生涯学習社会へ向けた取組の充実
- ・家庭における教育力向上への支援

② さくら草学びのエリアの教育目標

○教育目標 未来を担う人に必要とさせる資質・能力の育成

○目指す子ども像 未来を切り拓き、たくましく生き抜く子

○身に付けさせたい力

- ・自分で考え、責任をもって行動する力
- ・協働して、主体的に課題解決に取り組む力
- ・失敗を恐れずチャレンジする力



若木小・中台中・中台小

6 結びに

板橋区立若木小学校は、昭和 33 年 6 月に開校し、保護者や地域の方々に愛され、支えられながら、多くの子供たちを健やかに育んできた学校です。ここまで築き上げてきた伝統を守り、さらに発展させることは、今の私たちの使命であると考えます。その使命を果たすべく、保護者・地域の方々・教職員が思いを一つにし協働できる学校を目指し、尽力していきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和 4 年 4 月

板橋区立若木小学校

校長 平松 隆行